

令和元年 第3回西区区づくり推進横浜市議員会議

令和元年9月25日(水)

16:00~

西区役所4階4A会議室

次 第

1 開 会

2 座長の選出

3 議 題

(1) 平成30年度個性ある区づくり推進費決算状況について

(2) 令和元年度西区主要事業の進捗状況等について

ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」の推進

イ 西区ふれあい福祉推進事業

ウ 高齢者あんしん生活サポート事業

エ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業

オ 子育て支援の推進

カ 家計のやりくり応援事業

キ 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業

ク 地域資源を活用したまちの回遊性向上事業

ケ 交通安全事業

コ 安心して暮らせるまちづくり推進事業

サ 地域防災活動推進事業

(3) 令和2年度西区予算編成の基本的な考え方(案)について

(4) その他

ア 西区における開発動向等について

4 会議報告書の作成

5 閉 会

3-(1) 平成30年度 個性ある区づくり推進費決算状況

1 事業区分別実績

(単位:円)

区分	予算額	支出済額	差引	執行率
自主企画事業費	97,157,000	95,395,504	1,761,496	98.2%
一般管理費	463,540,000	461,037,818	2,502,182	99.5%
合計	560,697,000	556,433,322	4,263,678	99.2%

2 重点事業(自主企画事業費)

1 地域のつながりづくり		6,946,763円
主な事業	事業内容	事業実績
「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進	「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の普及啓発、地域の取組を支援	・「にこまち講座」の開催(7月～10月の間で3回、参加者:228人) ・「にこまちフォーラム」の開催(2月、参加者:355人)
西区ふれあい福祉推進事業	ひとり暮らし高齢者等の見守り・訪問などを行う町内会単位の「ふれあい会」の活動を支援	・「ふれあい会」の活動支援、助成金交付 ・「ふれあい会」団体数:55団体、会員数:583人、助成金対象世帯数:1,138世帯
2 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり		19,413,276円
主な事業	事業内容	事業実績
高齢者あんしん生活サポート事業	認知症サポーター養成講座等開催、「ころばんよ体操」による介護予防普及啓発、在宅療養ガイド作成	・お店版認知症ガイドの発行(8,500部) ・お元気活動応援マップ(健康づくり活動・グループ紹介編)の発行(2,000部) ・在宅療養ガイドPart 2(3,000部)
障害のある人も住みやすいまちづくり事業	障害理解を深めるための啓発、依存症講座開催、災害時を想定した障害児者の基盤づくり	・地域防災拠点訓練での障害理解の啓発(4か所、参加者:1,100人) ・区内3か所の福祉避難所にガス式発電機を設置
3 まちの回遊性向上とにぎわいづくり		20,524,221円
主な事業	事業内容	事業実績
地域資源を活用したまちの回遊性向上事業	西区フォトコンテストの実施、美化・緑化による区内回遊ルートの更なる魅力向上の推進	・西区フォトコンテストの実施(応募数:177作品、区内巡回パネル展示:6か所) ・藤棚地区商店街等の植栽帯更新 ・横浜駅周辺の清掃活動支援(登録企業:30社) ・ガイド情報誌「ことりっふ横浜西区さんぽ」の発行(20,000部)
商店街を核としたにぎわい創出事業	商店街スタンプラリー及びアフリカ学校の実施、ガイド情報誌及びサイクルマップの発行	・商店街スタンプラリー実施(参加者:757人) ・アフリカ学校実施(2回、参加者:36人) ・サイクルマップの発行(5,000部) ・ガイド情報誌「ことりっふ横浜西区さんぽ」の発行(20,000部)(再掲)
4 安全・安心なまちづくり		23,400,769円
主な事業	事業内容	事業実績
地域防災活動推進事業	地域防災拠点の機能強化、区本部の防災機能強化、自助・共助の推進	・地域防災拠点訓練の支援(9月及び1～3月、12拠点、参加者:3,058人) ・西区地域防災拠点運営委員向け研修会の開催(12月、参加者:61人) ・子育て世代向け防災啓発冊子の作成
食中毒・感染症予防対策事業	健康危機管理知識の普及啓発、食中毒・感染症の発生予防及び拡大防止	・感染症研修会(10月、参加者:54人) ・食の安全講習会(4回、参加者:165人) ・感染症・衛生害虫等のパネル展(5か所)
5 親しみやすい区役所づくり		25,110,475円
主な事業	事業内容	事業実績
サービス改善推進事業	職員への窓口対応向上研修の実施など人材育成を進め、正確でわかりやすい行政サービスを提供	・外部講師による窓口対応研修の実施(計2回、12月) ・庁舎掲示板の増設による広報力強化
広報充実事業	「広報よこはま西区版」の発行、ホームページの再構築、区内観光マップ等による情報提供	・広報よこはま西区版の発行(毎月1回、年間:602,700部) ・にしくまち歩きマップの発行(5,000部)
合計 (自主企画事業費支出済額)		95,395,504円

平成30年度 個性ある区づくり推進費 施策体系別決算額

1 地域のつながりづくり

(単位：円)

番号	事業名	30年度 予算額	30年度 決算額	増△減
1	「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」 (西区地域福祉保健計画)の推進	1,894,000	1,237,553	656,447
2	西区ふれあい福祉推進事業	3,707,000	2,887,663	819,337
3	地域活動事業	2,329,000	2,821,547	▲492,547
小 計		7,930,000	6,946,763	983,237

2 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

番号	事業名	30年度 予算額	30年度 決算額	増△減
1	高齢者あんしん生活サポート事業	2,684,000	2,396,461	287,539
2	障害のある人も住みやすいまちづくり事業	1,908,000	1,732,943	175,057
3	女性と子どものための相談支援強化事業	532,000	509,126	22,874
4	健康づくり応援事業	1,329,000	855,838	473,162
5	西区の保育施設つながり事業	836,000	832,852	3,148
6	読書活動推進事業	1,073,000	1,164,720	▲91,720
7	スポーツ活動団体支援事業	1,555,000	1,600,000	▲45,000
8	地域子育てサロン運営支援事業	250,000	353,238	▲103,238
9	西区で子育て学び隊事業	2,107,000	1,861,726	245,274
10	区役所キッズスペース運営事業	4,594,000	4,629,787	▲35,787
11	地域の力を生かしたスクールサポート事業	1,861,000	1,521,360	339,640
12	青少年育成団体支援事業	1,974,000	1,955,225	18,775
小 計		20,703,000	19,413,276	1,289,724

3 まちの回遊性向上とにぎわいづくり

番号	事業名	30年度 予算額	30年度 決算額	増△減
1	地域資源を活用したまちの回遊性向上事業	6,500,000	5,500,622	999,378
2	商店街を核としたにぎわい創出事業	3,010,000	2,577,107	432,893
3	ふるさと西区魅力発信事業	3,962,000	3,845,850	116,150
4	西区民まつり	3,920,000	4,300,374	▲380,374
5	地域文化振興事業	1,154,000	1,150,268	3,732
6	スポーツ振興事業	3,150,000	3,150,000	0
小 計		21,696,000	20,524,221	1,171,779

4 安全・安心なまちづくり

番号	事業名	30年度 予算額	30年度 決算額	増△減
1	地域防災活動推進事業	9,874,000	10,094,338	▲220,338
2	食中毒・感染症予防対策事業	974,000	868,604	105,396
3	安心して暮らせるまちづくり推進事業	1,012,000	1,121,335	▲109,335
4	特別避難場所へのガス発電機整備 (障害のある人も住みやすいまちづくり事業)	759,000	706,547	52,453
5	交通安全事業	1,649,000	1,580,453	68,547
6	西区ヨコハマ3R夢推進事業	2,026,000	1,911,544	114,456
7	放置自転車対策事業	5,063,000	3,731,514	1,331,486 ※1
8	西区温暖化対策推進事業	3,509,000	3,386,434	122,566
小 計		24,866,000	23,400,769	1,465,231

5 親しみやすい区役所づくり

番号	事業名	30年度 予算額	30年度 決算額	増△減
1	区総合庁舎等環境整備事業	6,375,000	13,127,213	▲6,752,213 ※2
2	サービス改善推進事業	653,000	390,398	262,602
3	人権啓発推進事業	316,000	100,887	215,113
4	広報充実事業	10,987,000	8,541,247	2,445,753 ※3
5	区民相談事業	874,000	867,596	6,404
6	区民生活マップ作成事業	1,247,000	1,160,500	86,500
7	統計便覧作成事業	600,000	486,540	113,460
8	区政推進運営事業	410,000	436,094	▲26,094
9	区づくり推進総合調整事業	500,000	0	500,000
小 計		21,962,000	25,110,475	▲3,148,475

総合計	97,157,000	95,395,504	1,761,496
-----	-------------------	-------------------	------------------

主な増減理由

- ※1 違法駐輪監視員委託の入札残
- ※2 庁舎及び区民利用施設の修繕案件の増
(西土木事務所資材置き場の万年塀改修による増)
- ※3 広報よこはま印刷の入札残

3-(2) 令和元年度 西区主要事業の進捗状況について

※下線部は前回（第2回）市議会議員会議後にスケジュール等進捗のあったものです。

地域のつながりづくり

ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」の推進 (福祉保健課)(区政推進課) (地域振興課)(高齢・障害支援課) 【予算額 3,390千円(対前年度比 1,496千円増)】

西区では、「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」（西区地域福祉保健計画、愛称：にこまちプラン）を西区の総合的な計画と位置づけ、その推進にあたっては、区社会福祉協議会や地域ケアプラザと連携した地区支援チームが積極的にサポートし、地域包括ケアシステムの構築に向けても一体的に取り組みながら、地域の様々な活動を支援することで、住民同士の「顔の見える関係づくり」や、地域課題の解決に住民が取り組む機運を一層広げることを目指しています。

令和元年度は、「第3期（平成28～令和2年度）にこまちプラン」の4年目を迎え、より着実な計画の推進を図り、地域主体の取組を進めていくとともに、特に地域で課題となっている「担い手づくり」「居場所づくり」に関する取組を継続して進めます。加えて、現行計画の進捗等の振り返りを実施し、次期第4期計画の策定作業に着手します。

また、「西区地域のつながりを育み強める補助金」等の活用や、地域づくり大学校とも連携しながら、地域の取組をより効果的に支援します。

(1) 「にこまちプラン」の推進等（3,390千円）

① 担い手づくり・居場所づくり

区PTA連絡協議会と連携しながら、子育て世代を対象に、地域とのつながりを深めていく機運を高めるための講座を開催します。

子育て世代が地域とのつながりを深める機運を高めるため、西区PTA連絡協議会と連携しながら、同協議会が開催しているPTA委員全体研修会(令和2年2月28日)の中で、地域とのつながりのエッセンスを含んだ内容の講座を実施します。

② こども向け啓発事業の実施

学校や放課後キッズクラブ等と連携し、こどもたちが「自分にできること」をにこまちプランの取組目標と関連付けながら考える機会を創出します。

学校の授業や放課後キッズクラブ等の夏季プログラムへ出向く出前講座形式で実施し、5月から8月まで合計6回、延べ186人の参加がありました。



こども向けにこまちプラン啓発事業の様子

③ 推進・評価委員会、プランの啓発・PR

- ・プランの推進状況を確認するため7月5日に推進・評価委員会を開催しました。平成30年度の実施報告や、計画の推進に係る意見交換等を行いました。



推進評価委員会の様子

- ・地域による取組の発表を中心に、活動の情報やノウハウを共有して活動の充実につなげるため、「にこまちフォーラム」を開催します。（令和2年2月15日開催予定）

④ 次期第4期計画の策定【新規】

次期計画の策定に向け、アドバイザーの助言を踏まえながら現行計画の振り返りを実施し、計画の骨子を作成します。令和2年度以降、作成した骨子をもとに、推進・評価委員会等の意見を聴きながら策定を進めていきます。

7月5日実施の推進・評価委員会でスケジュールの確認を行い、以降現行計画の振り返り作業を実施しています。

- ・7月上旬に区民の意識調査を目的とした区民アンケートを実施。無作為抽出の3,000人へ送付し、1,372件の返答。（回答率45.7%）
- ・区社会福祉協議会の分野別分科会にて意見交換を実施。（7月24日高齢福祉分科会、8月26日ボランティア分科会、9月17日児童福祉分科会）
- ・区役所及び区社協で平成28年度から令和元年6月までの取組について進捗状況や課題等の振り返りを実施。（7月）

【令和元年度 第4期計画策定に向けたスケジュール】

月	実施事項	実施内容
7月	推進評価委員会	・第4期区計画策定のスケジュールについて報告
7月～11月	現行計画の振り返り	・区民アンケート ・分野別（高齢、障害、児童、ボランティア）の活動団体へのヒアリング ・区、区社会福祉協議会、地域ケアプラザにおいて実施事項の進捗確認
12月	推進評価委員会	・振り返りの報告、策定の進め方や策定検討会の開催について確認
3月	骨子の作成	・計画の全体構成について策定検討会で確認

※ 策定検討会は推進評価委員会の委員の中から一部の委員を選出。

(2) 地域人材の育成・発掘と地域団体の連携推進（市民局 区配事業：2,450千円）

① 西区地域のつながりを育み強める補助金

地域活動の充実及び活性化に向けて、自治会町内会を含む2つ以上の団体が連携して行う、地域の課題解決、地域活動の担い手の発掘や育成への取組などに対して、補助金を交付します。

現在、地域の多世代交流や子供たちの居場所づくりへの取組など、新規1件・継続1件の補助を決定するとともに、継続1件の補助を予定しています。

② 協働の『地域づくり大学校』事業

地域ケアプラザ等との連携を深め、地域活動の担い手となる人材の発掘と育成を目指します。

『西区地域づくり大学校』の受講生の拡大を目指し、7月に作成した「第8期西区地域づくり大学校受講生募集パンフレット」を、自治会町内会をはじめ区内の市民利用施設や地域活動グループなどに配付しました。

また、広報よこはま西区版9月号のトピックスに掲載するなどして、受講生の掘り起こしを図っています。

さらに、これまでの西区地域づくり大学校修了生に対し、場所や資金に関する相談の機会を設けるなどして、協働事業者と協力しながら、地域に活動が根付くよう支援していきます。



地域づくり大学校の活動風景

【西区地域づくり大学校】

・令和元年度 テーマ
わたしがつくる“くらしのプラスワン”

・実施スケジュール

受講生募集 8月5日(月)～9月30日(月)

本講座 10月24日(木)～令和2年2月6日(木)
(全6回)

定員 15名

■参考（平成30年度実績）

実施時期：9月～12月（全6回）

テーマ：『自分らしさでつくる“プラスワン”のつながり』

受講者数：14名（修了者数：13名）



第8期西区地域づくり大学校
受講生募集パンフレット

イ 西区ふれあい福祉推進事業

(福祉保健課)

【予算額 3,888千円(対前年度比 181千円増)】

地域でのひとり暮らし高齢者、高齢者のみ世帯等の見守りなどを行う、自治会町内会単位の「ふれあい会」活動の支援、区民への広報・普及を行います。

これまでの対象に加え地域で見守りが必要と判断する世帯（日中ひとりになる高齢者がいる世帯、障害者のみの世帯など）へ対象を拡大するとともに、活動の担い手の負担軽減に配慮し、団体によって活動頻度を緩和できるように制度を変更しました。

- ・ふれあい会への助成金交付
令和元年度実施状況(8月末現在)
活動団体数 : 53団体
見守り対象世帯 : 1,202世帯
助成金合計 : 2,496,000円

- ・情報誌「みみより広場」発行
(6、9月発行済、12、3月発行予定)
- ・高齢者等の見守り活動に関する研修会
(12月16日実施予定)

西区福祉保健センター 令和元年6月13日 第65号

みみより広場

発行・問い合わせ
福祉保健情報ニュース編集委員会
(西区福祉保健センター・福祉保健課)
電話 : 320-8437
FAX: 324-3703

「みみより広場」は高齢者の皆様に必要な福祉保健の情報をお届けするため平成15年7月から年4回発行しています。

緑がまぶしい季節ですね。急に暑くなる日がありますので、熱中症に気を付けましょう。

まちのお元気さん



今回ご紹介する「まちのお元気さん」は、北軽井沢にお住まいの星野三さん、88歳です。星野さんは、横浜市西区のお生まれで宮谷小学校の出身です。若い頃は、海の生物の研究をしながら小・中学校の教員をされ、校長を勤め上げられた後は、大学で教員を目指す学生の育成に力を注がれました。星野さんに「教育」についてお伺いすると、「どんな子どもでも、その子の持っている いいものを見つけ、育てる。すなわちそれが、親の役割で、教師のつとめ」とのこと。60年経った今でも、昔の生徒さんがお祝いの会を開いてくださるなど、とても慕われている様子を感じます。そんな星野さんに元気の秘訣を伺うと、奥様の手料理とのこと。毎日の献立はとても充実しており、おかげで食欲が落ちることもなく、時には奥様とワインを召し上げることがあります。

今は地域のシルバー会(若生会)にご夫婦で仲良く参加されていて、「お花見会」「暑気払い」「忘年会・新年会」などで、奥様のユーモアでお仲間達を明るく笑わせています。またこの度、今年の2月27日(水)に「瑞寶雙光華」の叙勲を受けられたそうで本当におめでとうございます。これからも奥様と一緒に、末永くお元気にお過ごしください。

取材・記事：滝間台地域ケアプラザ

♪ いきいき 健康レシピ ♪ ☆レシピ紹介者 食生活等改善推進員
簡単に調理ができる、栄養バランスの良い料理をご紹介します♪

★キャベツのカレー風味

【材料】 (2人分)

キャベツ 2枚
人参 1/4個

A { オリーブオイル大さじ1 (サラダ油で可)
カレー粉 小さじ1/2
酢 大さじ1
塩 少々

【作り方】

- 1 キャベツは1口大に切る。(手でちぎってもよい)
- 2 人参は、せん切りにする。
- 3 キャベツ、人参をラップで包み電子レンジで約3分加熱する。
- 4 Aの調味料を混ぜ合わせ、あえる。



いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

ウ 高齢者あんしん生活サポート事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 2,729千円(対前年度比 45千円増)】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、「横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた西区行動指針」に基づき、「認知症等高齢者を支える地域づくり」「地域包括ケアシステムの基盤づくり」「介護予防普及啓発」の取組を推進します。

(1) 認知症等高齢者を支える地域づくり (757千円)

① 認知症サポーター養成講座の実施

認知症にやさしいまちづくりを進めるため、引き続き地域住民、学校や企業等の要請に応じて、認知症サポーター養成講座を実施します。また、新たに小学生等を対象とした講演会(8月3日・参加者数250名)を開催し、認知症の正しい知識と理解を周知しました。

② 「お店版認知症ガイド」を活用した普及啓発

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、買い物に日頃訪れるコンビニエンスストア・商店街等の従業員に向けて認知症の人への対応のポイントや相談先を掲載した「お店版認知症ガイド」を昨年度作成し、現在周知に努めているところです。

引き続き、本ガイドを活用し、普及啓発を行うとともに、地域における見守りの目としての意識醸成に努めます。

③ 認知症普及啓発を担う人材に対する育成研修の実施

認知症キャラバン・メイト(登録者数140名)等に向けて人材育成研修を交流会と合わせて実施し、地域における自主的活動につながるよう支援します。

④ 企業連携による「もしもカード」の周知

徘徊や外出先での緊急時に備えたカード「もしもカード」について、高齢者等に配布するだけでなく、高齢者を支援する立場にある方へ周知するため、事業の趣旨に賛同する企業と連携しながら、さらに普及に取り組みます。(計3社12,600枚、広報よこはま西区版7月号にて特集掲載)



お店版 認知症ガイド



もしもカード

(2) 地域包括ケアシステムの基盤づくり (825千円)

① 地域包括ケアシステム啓発キャンペーンの実施

期間を定め、「在宅医療・介護連携」「生活支援・社会参加の充実」「介護予防」「認知症対策」の推進に関する関係機関や区役所等の取組を一体的にPRするとともに、パネル展を行い、地域包括ケアシステムを広く周知します。(11月)

② 西区在宅療養ガイドの増刷【拡充】

在宅療養に関する理解を広めるため、平成29、30年度に作成した「西区在宅療養ガイド パート1・パート2」を活用し、シニアクラブ等へ周知・啓発(6月から)します。(4,000部発行)

③ 地域ケア会議へのアドバイザー派遣

地域包括ケアシステムの構築に向けて、区レベル(3回。1回目5月30日)・地域包括支援センターレベル(4回)地域ケア会議にアドバイザーを派遣し、地域課題の抽出から課題解決につながるよう会議の充実を図ります。



西区在宅療養ガイド
パート1・パート2

(3) 介護予防普及啓発 (1,147千円)

① 区民向け膝痛予防講演会等の開催【新規】

介護予防に関する普及啓発の取組の一環として、アンケート結果からニーズの高い「膝痛予防」をテーマとした講演会(5月29日・参加者数108名)・指導者研修会(6月19日・参加者数40名、8月29日・参加者数34名)・体操講座(7月25日・参加者数25名、9月10日・参加者数24名)を開催し、広く区民へ周知します。



げんき活動応援団

② 介護予防活動を担う人材に対する育成研修等の実施

(健康福祉局 区配事業:191千円)

地域における介護予防活動のリーダーとなる「げんき活動応援団」(登録者数30名)の人材育成研修を実施するとともに、介護予防活動グループ交流会を開催し活動の充実を図ります。(10月2回)

③ 介護予防に関するリーフレットの充実【拡充】

地域における介護予防に関する活動の場や健康づくりの取組等を紹介するリーフレットの掲載内容を充実し、高齢者の活動の場や健康づくりの取組への参加につなげます。



「お元気活動応援マップ」
「健康づくり活動・グループ紹介」

④ 「ころばんよ体操」DVD等の増刷

「ころばんよ体操」のDVD(100枚)・解説書(3,000部)を増刷・配布し、地域における介護予防に関する自主的活動の把握や活性化のために活用します。

エ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 4,519千円(対前年度比 1,852千円増)】

(1) 障害理解促進のための啓発・PR事業 (3,440千円)

障害のある人が安心して暮らせるまちづくりを推進するため、様々な機会を通じて啓発活動を行っていきます。

① 地域防災拠点訓練での啓発活動

・老松中、軽井沢中の2校で実施 (9月1日)

② 区民まつりでの啓発活動 (11月3日)



区民まつりでの啓発活動

③ 西区ふれあい作品展 (12月、2か所)

・12月3日～5日 (区役所) 12月6日～13日 (アニミ)

④ 障害者地域活動支援センターにおける障害理解促進・啓発活動 (10月5日、2月8日)【拡充】

※別途、中央図書館主催で12月に実施

障害者と地域住民がふれあう場を創出する取組 (区内障害者施設の製品販売や作品展の開催、ヒューマンライブラリー) の実施

10月5日は3名のパラスポーツ選手を迎え、少人数の参加者との対話を実施予定。



ふれあい作品展

(2) 障害児・者の活動支援及び地域人材の育成・発掘・ネットワーク化 (1,079千円)

① 障害福祉関係情報冊子のリニューアル【新規】

事業内容や製品紹介ページを設けることで、当事者・家族だけでなく地域住民にも身近な地域に障害児・者の活動場所があることを知ってもらい、障害児・者の地域生活についての理解を深めます。(10月完成予定)



障害福祉関係情報冊子「こんぱす」
平成27年版

② 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を進めるための関係機関ネットワーク強化【新規】

当事者・家族を含めた勉強会の実施

当事者を含めた事例検討会 (2月12日予定)

※別途、生活支援センター西主催で11月に実施

③ 電源を要する等、医療依存度が高い医療ケアを要する在宅障害児・者※への災害対策 災害時個別支援計画 (「わたしの災害対策ファイル」) の作成支援 広報よこはま西区版9月号の特集に掲載

ガス式発電機等を設置した福祉避難所6か所と連携した訓練の実施 (1月予定)
充電ステーションの機材稼働確認等、訓練内容検討中です。

※電源を要する等、医療依存度が高い医療ケアを要する在宅障害児・者とは、人工呼吸器や吸引器などの電源を要する医療機器を日常的に使用している方。発災時には停電になることも想定されるため、生命に関わる事態も予想されます。

オ 子育て支援の推進

(こども家庭支援課)

【予算額 3,710千円(対前年度比 235千円増)】

本市の平均と比較して出生数に占める第1子の割合や転入・転出率が高い西区において、妊娠期から学齢期まで、切れ目のない子育て支援を進めるため、区内の地域子育て支援拠点や保育所等の関係施設と連携して事業を実施します。

(1) 西区で子育て学び隊事業

都市化により孤立しがちな子育て家庭に対して育児に関する正しい知識の普及と仲間づくりを進めます。赤ちゃん教室では、月齢に合った、子どもの成長を促す遊び方を学ぶ機会を増やします。



赤ちゃん教室の様子

- ・赤ちゃん教室：9か所×年10回
(4～8月実績：472組967名)
- ・プレパパママ教室(土曜開催)：年4回
(5月25日実績：24組参加)
- ・中学校いのちの教室：全5校(9月より順次実施)

(2) 西区の保育施設つながり事業

南浅間保育園において地域の親子を対象とした子育て支援事業を実施するとともに、子育て関連施設と連携して、育児講座や保育の質向上に向けた研修等を実施します。

また、対応が困難な保護者への関わり方について、保育所等職員を対象とした臨床心理士による相談・研修を実施します。

- ・地域の親子向け育児講座の開催(南浅間保育園)：年5回
(うち3回(6月14日、7月6日、7月19日)を開催済。参加合計：61組122人)
- ・出前合同育児講座の開催(西区子育て関連施設連絡会)：区内7地区で各1回開催
(うち3回(6月19日(第一地区)・9月12日(第2地区)・9月19日(第五地区))を開催済。参加合計：80組)
- ・臨床心理士による相談・研修の実施【新規】：通年
(保育所個別相談6月12日、6月24日実施)

(3) 女性と子どものための相談支援強化事業

乳幼児期から学齢期・思春期までの子育ての心配ごとに関する相談窓口を周知します。また、子どもの発達の特徴に気づいていない保護者に対しても、適切な助言を行えるよう、3歳児健康診査時に臨床心理士による個別相談を実施します。

- ・子ども・家庭支援相談事業紹介ちらしの作成及び配付：2,000部
- ・3歳児健康診査時の臨床心理士による個別相談【新規】：年16回
(9月まで8回実施、計41件)

カ 家計のやりくり応援事業【新規】

(生活支援課)
【予算額 605千円】

生活に困窮している方が、家計のやりくりの重要性を理解し、収支バランスの改善に自ら取り組むことができるワークブックを作成します。

家計改善支援に実績のある事業体（中高年事業団やまて企業組合）に作成を委託し、公租公課の徴収部門（税務課・保険年金課）や地域の関係機関（西区社会福祉協議会・地域ケアプラザ・基幹相談支援センター等）から意見を聞き、内容に取り入れました。

発行後は生活困窮者及び生活保護受給者への相談・支援の場面で活用するとともに、各関係機関にも配布し活用してもらいます。

（発行部数：400部、発行時期：10月予定）



相談の様子(イメージ)

■参考（生活困窮者自立支援制度）

生活保護に至る前の段階から、生活困窮状態からの早期脱却に向けて支援する「第2のセーフティネット」として、平成27年4月から全国的にスタートした制度です。

支援の対象者は、「就労状況、心身の状況、地域社会との関係性その他の事情により、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者」と定義されており、経済的な困窮状態にある方を広く捉えています。

「住宅確保給付金」を除き、基本的に現金給付はなく、自立に向けた人的支援を有期で提供するという点が特徴です。

【生活困窮者自立支援制度の相談・利用実績】

	27年度	28年度	29年度	30年度
新規相談案件数	163	180	187	240
うち徴収部門経由	44	44	44	36
支援申込み件数 A	44	74	69	78
家計相談支援件数 B	20	31	39	28
申込み件数のうち 家計相談支援割合 B/A	45.5%	41.9%	56.5%	35.9%

【生活困窮者自立支援制度の支援メニュー】

支援メニュー	支援内容
自立相談支援	支援員がどのような支援が必要かを相談者と一緒に考え、具体的な支援プランを作成します。
住宅確保給付金	離職によって住居を失った方等に、一定期間、家賃相当額を支給します。
家計改善支援 (H30年度までは家計相談支援)	自ら家計を管理できるように、収支バランスや債務整理に関するアドバイスをします。また、債務相談や貸付窓口の紹介し、必要に応じ窓口まで同行します。
就労準備支援・ 就労訓練	すぐに就労することが難しい方に、生活習慣や基礎能力を養う支援をします。また、短時間就労の機会（いわゆる「中間的就労」）を提供します。
就労自立促進事業	区役所の中にある「ジョブスポット」（ハローワーク横浜の施設）を活用しながら就職活動をサポートします。
一時生活支援	住居を持たない方に対し、一定期間宿泊場所や食事を提供します。また、退所後の生活に向けた就労支援などの自立支援を行います。
寄り添い型 学習支援	生活困窮や養育困難などの課題を抱えている世帯の子どもに対し、将来の自立のための高校進学に向けた学習等の支援をします。

まちの回遊性向上とにぎわいづくり

- キ 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業 等 (地域振興課)
ク 地域資源を活用したまちの回遊性向上事業 等 (区政推進課)
【予算額 12,579千円(対前年度比 1,719千円増)】

第7回アフリカ開発会議、ラグビーワールドカップ2019™、東京2020オリンピック・パラリンピック等の大規模イベント開催により、来街者が増加する機会を捉え、区内の回遊性を高めるための取組を進め、まちの賑わいを創出します。

(7) 大規模イベント開催に伴う賑わい創出

(1) ラグビーワールドカップ2019™開催に合わせたまちの賑わい

① 商店街連携イベントの開催 (2,139千円) 【拡充】

ラグビーワールドカップ2019™ファンゾーンの開催の機会を利用して、商店街の魅力を来街者等に広くPRを行うため、「西区deコラボ“ラグビー×商店街”まつり2019」を開催します。

開催日：10月12日(土)

場 所：高島中央公園

内 容：ラグビー教室(協力：関東学院高校ラグビー部)

ラグビー体験遊具

商店街のうまいものブース 等



関東学院六浦高校ラグビー部



ラグビー エア遊具

② 「ラグビー教室」の開催【拡充】(市民局 区配事業：600千円)

ラグビーワールドカップ2019™開催に向けた機運醸成として、区内小学校において元日本代表選手などによる体験型のラグビー教室を開催しました。

【実施校】

- ・東小学校 6月17日
(講師：廣瀬 俊明 氏、高山 国哲 氏)
- ・富士見台小学校 6月25日
(講師：廣瀬 俊明 氏、鈴木 実沙紀 氏)
- ・浅間台小学校 9月5日
(講師：今泉 清 氏)



ラグビー教室

(2) 第7回アフリカ開発会議開催に合わせた機運醸成の取組

- ① アフリカヘリテイジフェスティバルin横浜西区の開催（1,000千円）【新規】
（その他、国際局 区配事業：500千円、及び 文化観光局 区配事業：500千円）

「第7回アフリカ開発会議（TICAD7）」の機運を高め、市民の皆さまにアフリカの文化への理解を深めていただくため、音楽やワークショップ、アフリカ料理などのブース出店により、アフリカの生活等が体験できるフェスティバルを開催しました。

開催日：8月3日、4日

場 所：高島中央公園

内 容：アフリカ文化紹介展示、フードコート、ステージイベント、アフリカ雑貨等販売ワークショップ、アフリカンパレード 等

人 数：約2,500人

主 催：NPO法人 アフリカヘリテイジコミュニティ

共 催：西区役所



アフリカヘリテイジフェスティバル in 西区

(3) 東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けた機運醸成の取組

- ① スポーツ振興の強化（1,900千円）
（その他、市民局 区配事業：500千円）

区内小学校（稲荷台小・戸部小・宮谷小）において、オリンピック・パラリンピアンによるスポーツ教室を実施します。

その他、区民の皆さまに向けたスポーツの振興事業を引き続き実施します。

【実績】みなとみらい本町小学校（講師：パラリンピアン高田夫妻）9月6日実施済



みなとみらい本町小学校でのスポーツ教室



富士見台小学校でのスポーツ教室

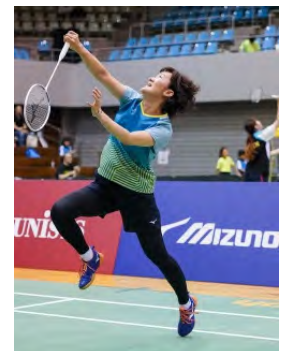
- ② オリンピック種目体験会の実施（500千円）

西区区民まつりと同日開催で、アテネオリンピックベスト16の森 かおり 氏を招へいし、バドミントン教室を開催します。

日 時：11月3日 11時00分～12時30分

場 所：西前小学校

内 容：バドミントン体験、オリンピックと対決、トップレベルの打ち合いを披露



講師：森 かおり 氏

(4) 来街者等への広報充実及び魅力発信による回遊性向上

(1) 多言語化によるインバウンド対応【新規】

① 公共施設案内サインの多言語化（1,500千円）

国道沿いに主に設置されている公共施設案内サインについて、横浜市公共サインガイドラインに準拠した多言語化の整備に向け準備を進めています。また、経年劣化による破損・汚損の改修を行い、見やすく分かりやすい盤面に更新します（16基、10月整備予定）。



公共施設案内サイン

② 英語版ガイド情報誌の作成（2,000千円）

ガイド情報誌「ことりっふ横浜西区さんぽ」の英語版を作成し、ラグビーワールドカップ2019™開催の機会等を利用して配布することで、来街者へ西区の魅力を発信します。

タイトル：「co-Trip Discover Yokohama Nishi」

発行部数：5,000部

配布時期：8月以降順次

配布場所：観光案内所、区内主要ホテル、区内イベント会場、交通関係施設 等



英語版ことりっふ「co-Trip Discover Yokohama Nishi」

- 参考（ことりっふ横浜西区さんぽ）
- 発行：平成30年3月（ふるさと西区推進委員会）
 - 発行部数：4万部（約24,000部配布済：平成30年度末）
 - 配布場所：観光案内所、区内金融機関、区内主要ホテル、中央図書館
西区役所、区内イベント会場 等
 - 電子書籍版アプリ無料コンテンツ
ダウンロード数：5,272件（平成30年度末）

(2) 観光マップのデジタル化 (2,000千円) 【新規】

「にしくまち歩きマップ」及び「サイクルマップ」(平成31年3月発行)で取り上げているスポットや、西区フォトコンテスト応募作品の撮影スポット等をまとめたデジタル観光マップを作成・公開しました。これにより、スマートフォンでの閲覧やスポットへのルート検索、英語による表示など、利便性向上が図られました。

公開日：8月20日

(日本語版・英語版)

掲載内容：名所・旧跡、観光施設

温故知新のみち案内サイン

ベイバイクポート

フォトスポット 等



デジタル観光マップ画面イメージ

(3) 地域資源を活用した魅力発信 (2,040千円)

平成30年度に実施した「西区フォトコンテスト」のパネル展示を引き続き実施します。また、大規模イベントの開催に伴い来街者が増加する機会を捉え、応募作品を活用するとともに、ガイド情報誌や観光系マップ等を一元的に紹介するリーフレットを作成し、西区の魅力発信を行っていきます。

さらに、イベント等でのブース出展にあわせて西区公式Instagram“にしまる探検隊”をPRすることで、フォロワー数と来街者の増加を図り、まちの賑わいづくりにつなげます。

① フォトコンテスト作品活用

- ・フォトコンテスト作品掲示

商店街集客施設、市営バス車内、横浜駅西口駅前広場(工事仮囲い)、区内開催イベント 等

- ・西区魅力発信ツール紹介リーフレット

■参考(西区魅力発信ツール紹介リーフレット)

発行部数：8,500部

配布時期：10月予定

配布場所：区内イベント会場、交通関係施設 等

掲載内容：デジタル観光マップ、サイクルマップ、ことりっふ横浜西区さんぽ、まち歩きマップ、Instagram 等



横浜駅西口駅前広場工事仮囲い

② Instagram

■参考(Instagram：9月18日現在)

投稿数：100件 フォロワー数：635人



西区Instagram投稿写真(一部)

ケ 交通安全事業

(地域振興課)

【予算額 2,290千円(対前年度比 641千円増)】

地域、学校、警察、関係団体と連携し交通事故防止対策として、新たな交通安全教室の開催や啓発キャンペーン活動、スクールゾーンの安全対策等、地域の交通安全事業を強化します。

(1) 小学校への交通安全教育事業 (550千円) 【拡充】

既存の交通安全教室に加えて、新たに保護者向けの講話や体験型の交通安全教室を全校で展開し、さらに交通局の協力により新たに大型バスを活用した体験型交通安全教室を7月6日に実施しました。交通ルールを守る大切さや無謀運転の危険性を学ぶことができるよう強化します。

【実績】交通安全教室 (全校) 6月末までに実施済



保護者向けの講話



大型バスを活用した体験型交通安全教室

(2) 交通安全運動推進事業 (539千円) 【拡充】

各季交通安全運動西区キャンペーン等を開催し、新たなパネル展や啓発物品の配付等により区民をはじめ、多くの市民へ交通事故防止を呼びかけます。

【実績】春の全国交通安全運動 5月16日実施済

秋の全国交通安全運動 9月24日実施済



春の全国交通安全運動



秋の全国交通安全運動

(3) スクールゾーン等への対策 (1,201千円)

各小学校のスクールゾーン対策協議会に対し、7月までに活動助成金を交付し運営の支援を行いました。現在、協議会の協議に基づき、自治会・町内会、警察、関係団体とともに、通学路の安全設備等(路面標示の補修・新設、電柱巻等)の整備を検討しています。

コ 安心して暮らせるまちづくり推進事業

(地域振興課)

【予算額 2,008千円(対前年度比 996千円増)】

特殊詐欺被害の防止など区民が安心して生活できるまちづくりの推進のため、「地域の安全は地域で守る」をテーマに、地域住民や警察署、防犯協会等と連携し、防犯啓発活動を強化します。

(1) 防犯情報提供・意識啓発事業 (358千円)

被害を未然に防ぐため、戸部警察署と連携し、犯罪手口にあわせた防犯啓発チラシの作成・区民への配布、広報よこはまでの注意喚起、区内で発生した犯罪情報のリアルタイムなメール配信等を継続的に行います。(8月末までに10件配信)

また、特殊詐欺対策(だまされた振り作戦)の玄関ステッカーを配布するとともに、「地域安全西区民のつどい」の開催等により防犯意識の啓発を行い、犯罪被害の抑制を図ります。

(2) 青色パトロールの拡大実施 (1,650千円) 【拡充】

被害額が増加している特殊詐欺対策のため、戸部警察署と協力して行う青色(防犯)パトロールを委託化し出動回数を増やして、防犯啓発活動を強化します。

■参考	
・特殊詐欺被害額等	平成30年：約1億500万円(件数：32件) 平成29年：約5,000万円(件数：32件)
・青色パトロール実施回数	令和元年：年48回(週1回程度)(8月末までに20回実施済み) 平成30年：16回



防犯啓発チラシ



特殊詐欺対策(だまされた振り作戦)の玄関ステッカー

サ 地域防災活動推進事業

(総務課)(福祉保健課)

【予算額 12,773千円(対前年度比 2,899千円増)】

(1) 地域防災拠点の機能強化 (2,151千円)

① 地域防災拠点訓練等の実施

「西区地域防災拠点管理運営委員会連絡協議会」を開催しました。(5月24日)

また、発災時に各地域防災拠点(以下、「拠点」)が円滑に開設・運営されるよう、第1回目の拠点訓練を下記のとおり実施しました。(第2回の拠点訓練は1～3月を予定)



老松中学校 地域防災拠点訓練

〈地域防災拠点訓練実施状況〉

実施日	拠点名
8月31日	稲荷台小
9月1日	戸部小、東小、宮谷小、一本松小、老松中、軽井沢中
9月8日	平沼小、西前小、岡野中、西中
9月29日(予定)	浅間台小

② 多様な避難者への対応支援

「拠点カルテ」において課題とされた「要配慮者のための生活スペース確保等」を今年度の拠点訓練の重点取組事項としました。9月の訓練では一部の拠点について、要援護者やペット連れの方などが避難してくる想定を盛り込んだ訓練を行いました。

(2) 区本部の防災機能強化 (6,648千円)

① 河川水位上昇に係る調査の実施【新規】

全国有数のターミナル駅である横浜駅周辺地区における安全・安心を確保するため、昨今のゲリラ豪雨等に伴う河川水位の急激な変化要因等について大学及び事業者と共同で調査を開始しました。帷子川流域の下水管路の状況と雨量、潮位、河川水位等の過去データをもとに、水位・浸水予測モデルを作成し、計算結果の精度を検証しています。

② 大規模イベントに向けた帰宅困難者対応訓練

大規模災害が発生し横浜駅周辺地区及びみなとみらい地区において、帰宅困難者が多数発生したことを想定した訓練を実施します。7月22日にパシフィコ横浜において、約70名が参加して帰宅困難者一時滞在施設の開設に向けたシミュレーション訓練を実施しました。



避難者受入時の状況

③ 震災・風水害対策本部運営訓練

災害時の協定を締結した企業等と連携し、発災時の情報受伝達や避難所の開設等を想定したシミュレーション訓練を実施します。6月4日に区職員24名が参加し、避難施設関係者と連携した風水害対応訓練を実施しました。

④ 災害医療対策の推進

災害医療連絡会・災害時医療研修（2月）を通じて関係機関・団体と連携し、災害時の医療救護体制の課題や対応策について引き続き検討します。

また、医療救護隊巡回訓練（9月1日）では、発災時を想定し、医師・看護師・薬剤師等から構成される医療救護隊が、区内の地域防災拠点を巡回し、トリアージ訓練を行いました。

更に、区内医療機関や市医療調整チーム（医療局）との通信訓練（偶数月実施（4・6・8月実施済み））等実践を意識した訓練を実施します。

(3) 自助・共助の推進（3,974千円）

① 木造住宅密集地域における減災対策

感震ブレーカー簡易タイプ設置促進事業では、西区全域に補助事業対象地域を拡大し、より一層の普及を図ります（令和元年度目標1,000個、7月末現在4団体162個）。【拡充】

広報よこはま西区版9月号の特集に掲載

また、老朽化した初期消火器具等の更新費用の補助事業を引き続き実施します。

■参考（地震火災対策方針対象地域への感震ブレーカー補助実績）

28年度：951個 29年度：689個 30年度：413個

② 多言語版防災マップの作成【新規】

外国籍の住民でも避難所等の防災情報を容易に入手できるよう、防災マップを複数言語化し、ホームページ上で提供します。

③ 幅広い世代を対象とした防災・減災啓発

次世代の防災の担い手となる中学生に向けたセミナーを西区の中学校区5校で実施します。

また、子育て世代向けリーフレット（31年3月作成）や小中学生向け防災ガイドを引き続き活用し、機会を捉えて啓発を行います。



老松中学校 市民防災センター見学ツアー

〈防災セミナー実施状況〉

学校名	実施日	内容
軽井沢中学校（1学年）	7月3日	防災設備取扱い体験（エンジンカッター、簡易担架取扱等）
老松中学校（1学年）	9月1日	市民防災センター見学ツアー
岡野中学校（1、2学年）	9月6日、18日	市民防災センター見学ツアー
西中学校、岩井原中学校	調整中	

3-(3) 令和2年度西区予算編成の基本的な考え方(案)について

《予算編成の基本的な考え方(案)》

令和2年度は「中期4か年計画2018～2021」の3年目にあたります。

また、令和2年度は、第3期「にこまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の最終年にあたり、現計画の総まとめと次期計画の策定を行うとともに、地域包括ケアシステムの構築を西区行動指針に基づき進めます。

令和2年度の西区予算編成では、西区の基本目標の達成に向けて、以下の重点項目を設定し事業の検討を進めます。

1 基本目標

つながりを大切に 誰もがにこやかしあわせなまち 西区へ

2 重点項目

(1) 地域のつながりづくり

「にこまちプラン」の推進を通じて、地域主体の取組、課題解決の場づくりや担い手づくりを支援するとともに、つながりづくりを応援します。

また、「にこまちプラン」について、現計画の最終年として振り返りと総まとめを行うとともに、現計画の取組を継続・発展させた次期計画を策定します。

(2) いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

子どもから高齢者まで誰もが健康に暮らせる環境づくりとして、切れ目のない子育て支援、高齢者や障害のある人への活動のサポート、生活困窮者への相談支援、生活習慣病予防などの健康づくりを進めます。

(3) まちの回遊性向上とにぎわいづくり

東京2020オリンピック・パラリンピックや横浜トリエンナーレ2020を契機とした取組を進めるとともに、このような機会によって醸成された「にぎわい」を継続させるため、西区の歴史や地域資源を活かした伝統的な催事を地域・企業の皆さまと協働で実施し、西区の魅力発信・まちのにぎわい創出につなげます。

(4) 安全・安心なまちづくり

要援護者対応など自助・共助の取組を支援するとともに、横浜駅やみなとみらい地区等、大規模施設を抱える西区の特性に応じた防災・減災対策や、地域と連携した防犯・交通安全対策、食中毒・感染症予防などに力を入れて取り組みます。

(5) 親しみやすい区役所づくり

区民の皆さまに寄り添った、きめ細かな窓口サービスを提供します。

また、西区の取組や魅力などを、SNS等さまざまな広報媒体を有効に活用し、積極的に発信します。

3 予算編成の進め方

(1) 事業の検討にあたっては、円卓会議をはじめ、様々な機会を通じていただいた区民の皆様のご意見・ご要望を予算編成に活かすよう努めます。

また、「チーム西区役所」としての総合力を発揮し、区役所各課のみならず、関係局と事業内容について十分に連携・調整を図ります。

(2) 地域の新たなニーズや課題に対応するため、全ての事業について、課題認識を新たにし、ゼロベースから必要性や効果、事業手法等の検証を行うことにより、積極的な見直しを実施します。

また、見直しによって生み出した財源をもとに、新規・拡充事業の充実を図ります。

3-(4)-ア 西区における開発動向等について

地図	項目	概要
①	市民病院	<p>医療の高度化や医療環境の変化に対応していくため、市民病院再整備事業に取り組んでいます。神奈川区側で診療棟、西区側で管理棟の建設工事を行っています。</p> <p>【スケジュール】</p> <p>平成29(2017)年9月 診療棟の建設工事着工 平成30(2018)年11月 管理棟の建設工事着工 令和2(2020)年1月末 完成予定 令和2(2020)年5月1日 開院予定</p>
②	横浜駅周辺浸水対策	<p>(1) (仮称)神奈川処理区横浜駅周辺雨水幹線及び東高島ポンプ場整備事業</p> <p>横浜駅周辺では10年確率降雨(60mm/1時間)に対する整備を行ってきましたが、さらなる治水安全度の向上に向け、30年確率降雨(74mm/1時間)に対応するため、新たに雨水幹線及びポンプ場の整備を予定しています。<u>雨水幹線を築造するための立坑を岡野公園の野球場の一部に設置することで、地元や野球場利用団体と調整を行い、工事着手に向けて設計を進めています。</u></p> <p>【スケジュール】</p> <p>平成29(2017)年度 公共事業事前評価制度による評価 平成30～令和2年度(2018～2020年度) 詳細設計・関係機関等協議 令和2(2020)年度 工事着手予定 令和12(2030)年度 供用開始予定</p> <p>(2) 水位周知下水道・雨水出水浸水想定区域</p> <p>地下街周辺等の公共下水道水位の計測を行い、水位や雨量情報等から溢水を予測して、水防活動に活用することを目指した取組を進めます。</p> <p>【スケジュール】</p> <p>平成30(2018)年1月 横浜駅西口のマンホール4か所で計測開始 平成30～令和2年度(2018～2020年度) 計測の継続、解析・周知方法の検討 令和2(2020)年度 水位周知下水道の指定、雨水出水浸水想定区域の指定(予定)</p>
③	久保町防災広場等整備	<p>老朽化した防火水槽の更新に向け、防災広場の整備を行います。</p> <p>【施設概要】 防災広場等</p> <p>【スケジュール】</p> <p>平成30(2018)年2月 西区久保町第三自治会説明 平成30(2018)年度 測量作業、設計作業(道路) 令和元(2019)年度 用地取得、設計作業(広場)(予定) 令和2(2020)年度 工事(防火水槽撤去、 防災広場・新設道路整備)(予定) 令和3(2021)年度 移管手続(予定)</p>

④	伊勢町公舎跡地	<p>約2haの土地のうち北側約15,200㎡は、住友不動産㈱が平成26年度に県から取得し、集合住宅及び保育所が建設されました。また、敷地内には地域要望による歩行者通路と隣接する『西区地域活動ホーム』の避難路が確保されました。</p> <p>なお、南側の約4,000㎡については市が取得し、隣接する伊勢町もくせい公園の拡張部として整備しました。令和元年度内に、消防団器具庫の設置工事及び集合住宅の提供公園部分とをつなぐ階段の設置工事を行う予定です。</p>
⑤	東横線廃線跡地	<p><u>桜木町駅西口広場付近から紅葉坂交差点までの区間が令和元年7月16日に歩行者専用道路として供用開始されました。</u></p> <p>旧高島町駅付近の高架下は平成30年8月から「R16 国道16号線スタジオ」として暫定活用を開始しました。今年度も引き続き、アーティスト・クリエイターが創作活動を行っています。</p>
⑥	旧横浜税関西戸部寮公園整備	<p>国家公務員宿舎跡地について、環境創造局が土地の取得を進めており、街区公園として整備する予定です。</p> <p>【施設概要】 公園面積 約1,500㎡ 【スケジュール】 平成29～令和元年度(2017～2019年度) 用地取得 令和2(2020)年度以降 建物解体、公園整備工事(予定)</p>
⑦	旧野毛山寮公園整備	<p>当該地は、一本松まちづくり協議会のエリア及び地震火災対策方針における重点対策地域に含まれ、平成21年度に地域から市長あてに公園整備の要望書が提出されています。都市整備局が国家公務員宿舎跡地を取得し、防災に資する街区公園の整備、取付道路の整備等を行います。</p> <p>【施設概要】 公園面積 約1,800㎡ 【スケジュール】 平成29～令和元年度(2017～2019年度) 用地取得 平成30(2018)年度 解体工事 道路・公園整備に向けた調査・設計 令和元(2019)年度 公園設計、道路整備工事 令和2(2020)年度 公園整備工事(予定)、道路整備工事(予定) 令和3(2021)年度 移管手続(予定)</p>
⑧	老松町国公舎跡地	<p>国の公務員宿舎跡地を活用して、特別養護老人ホームを整備します。公募で決定した事業者が建設工事を進めています。</p> <p>【施設概要】 事業者：社会福祉法人 白梅(しらうめ)福祉会 定員：入所90名、ショートステイ10名 【スケジュール】 平成30(2018)年8月～12月 解体工事(国が実施) 平成31(2019)年1月 建物工事着工 令和2(2020)年1月 竣工(予定) 令和2(2020)年4月 開所(予定)、入居開始(予定)</p>

⑨	野毛山公園プール 跡地公園整備	<p>野毛山公園プールは老朽化のため平成21年に解体され、跡地利用の検討・調整を行ってきましたが、隣接する野毛山公園の拡張部として、整備を行うことが決定しました。</p> <p>【施設概要】 土地面積 約6,200㎡ 【スケジュール】 平成30～令和元年度(2018～2019年度) 公園計画の検討 令和2(2020)年度以降 所管替え、公園設計、公園整備工事(予定)</p>
⑩	横浜駅周辺(別紙⑩参照)	
	横浜駅西口	<p>東日本旅客鉄道(株)は[1]JR横浜タワー(商業施設・業務施設等)及びJR横浜鶴屋町ビル(駐車場・子育て支援施設等)の建設を進めるとともに、[6]JR横浜駅改札内において、中央南コンコースと南コンコースを結ぶ新たな地下通路とホームへのエレベーターを整備することで、バリアフリー化を進めています。</p> <p>また、(株)相鉄アーバンクリエイツによって[2]西口地下街中央通路接続事業((通称)馬の背解消)が進められています。</p> <p><u>なお、JR横浜タワー1階のアトリウム通路は令和元年7月に開通しました。中央自由通路から西口地下街への接続通路は、JR横浜タワー工事及び中央西口駅前広場工事の進捗に伴い一旦閉鎖し、12月頃に新設通路が開通する予定です。</u></p> <p>[3][4]西口駅前広場についても令和元年7月から工事に着手しました。</p> <p>また、神奈川県になりませんが、[5]横浜きた西口鶴屋地区では国家戦略特区を活用し、グローバル企業誘致に資する居住機能を有した再開発事業(住宅、ホテル、商業施設等)を進め、令和元年度中の工事着手を目指しています。</p> <p>【スケジュール】</p> <p>令和元(2019)年7月 [3][4]中央西口・きた西口駅前広場の整備 工事着手</p> <p>令和元(2019)年12月 [2]西口地下街中央通路接続事業 (馬の背解消)新設通路開通(予定)</p> <p>令和元(2019)年度 [5]横浜きた西口鶴屋地区再開発工事着手</p> <p>令和2(2020)年度 [1]JR横浜タワー、JR横浜鶴屋町ビル開業 (春頃)</p> <p>[3]中央西口駅前広場Ⅰ期工事完了(春頃) 中央西口駅前広場Ⅱ期工事着手(秋頃)</p> <p>[6]JR横浜駅改札内通路整備(コンコース間 通路、ホームへのエレベーター使用開始)</p> <p>令和4(2022)年度 [5]横浜きた西口鶴屋地区の竣工</p>

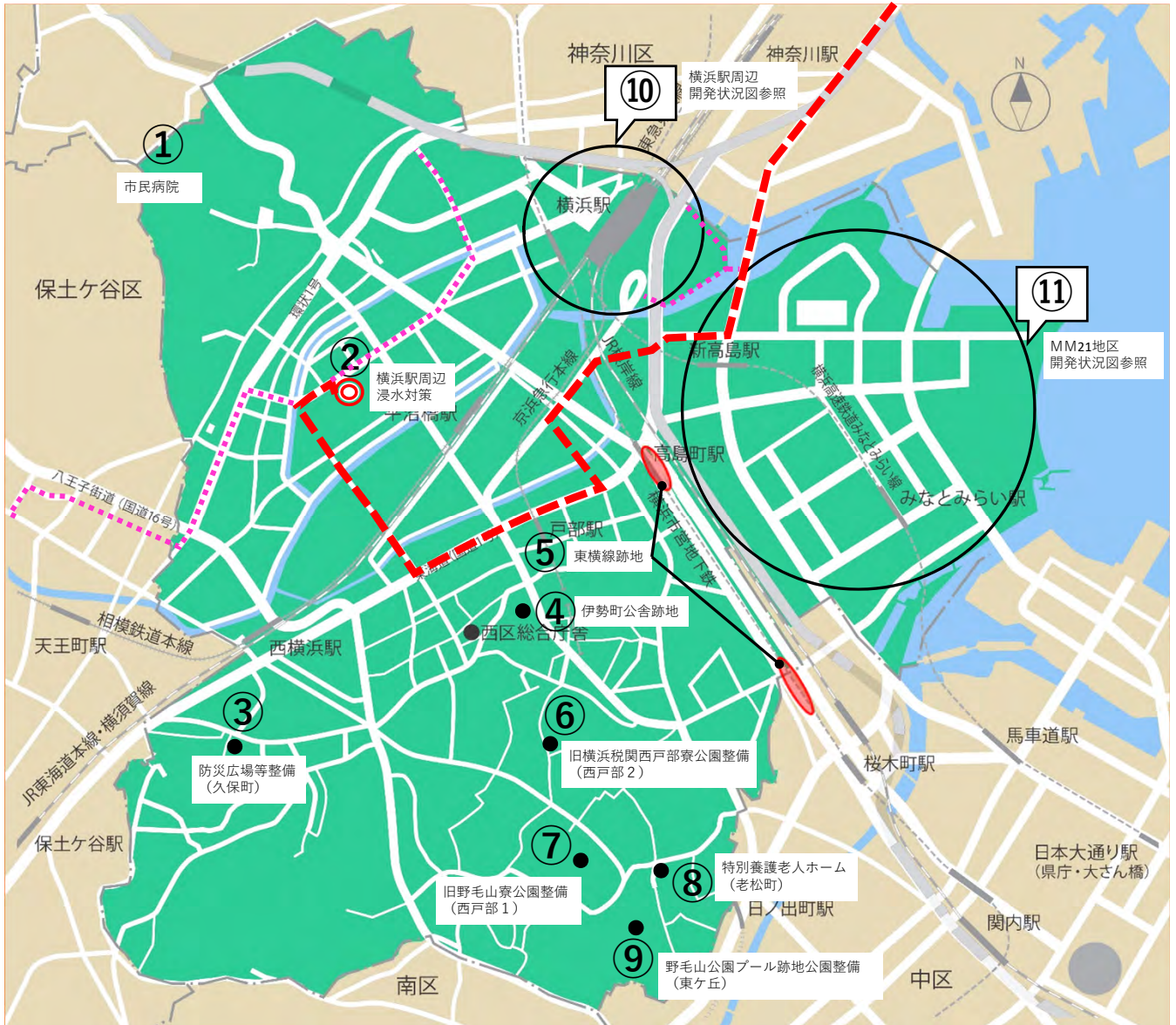
	横浜駅東口	<p>横浜中央郵便局及びその周辺地区における民間開発の事業化に向けて、ステーションオアシス協議会(日本郵政(株)、東日本旅客鉄道(株)、京浜急行電鉄(株)、横浜市)により、地下駐車場など地下の工事方法について詳細な調査を実施したところ、地盤改良や近接する鉄道への対策工事等による事業費への影響が大きいことが判明し、地下の掘削部分を縮小するなどの検討を行っています。さらに、関連する基盤施設整備として、駅前広場やデッキ等の検討を行っています。</p> <p>また、[7]連節バスを活用した「高度化バスシステム」については、横浜駅東口、山下ふ頭を起終点としたルートにより、水際線沿いの主要な施設を結びます。<u>令和元年度下半期に停留所等の整備工事と試走までを行う予定です。</u></p> <p>【スケジュール】 [7]高度化バスシステム 令和元(2019)年度<u>下半期</u> 試走、走行環境整備工事等(横浜駅東口降車バース整備等) 令和2(2020)年6月頃 運行開始予定</p>
⑪	みなとみらい21地区(別紙⑪参照) 地図上の赤丸番号は建設中、青丸番号は計画中、黄丸番号は公募中、緑丸番号は竣工済みの街区です。	
赤①	MM21地区 20街区 MICE施設	<p>■横浜みなとみらい国際コンベンションセンター ((通称)パシフィコ横浜ノース)</p> <p>(株)横浜グローバルMICEがPFI事業としてMICE施設整備を行います。既存パシフィコとの一体的な運用を目指すため、整備事業とは別に、運営事業者として(株)横浜国際平和会議場と契約を締結し、平成29年5月より施設の予約受付を開始しています。</p> <p>なお、民間収益事業者(リゾートトラスト(株))が隣にホテルを整備します。</p> <p>【スケジュール】 平成29(2017)年8月 着工(MICE施設) 9月 着工(ホテル) 平成30(2018)年8月 企業立地促進条例事業計画認定(ホテル) 令和2(2020)年春 MICE施設 オープン予定</p>
赤②	MM21地区 臨港パークデッキ 整備事業 (20街区-臨港パーク)	<p>20街区MICE施設整備事業と合わせ、20街区と臨港パークを結ぶ歩行者ネットワークとして、臨港パークデッキを整備します。</p> <p>【スケジュール】 平成31(2019)年3月 着工 令和2(2020)年4月 供用予定</p>
赤③	MM21地区 臨港幹線キング軸 デッキ整備事業 (50-20街区)	<p>20街区MICE施設整備事業と合わせ、20街区と50街区を結ぶ歩行者ネットワークとして、臨港幹線キング軸デッキを整備します。これにより、地区内における来街者等の利便性、安全の確保を図ります。</p> <p>【スケジュール】 平成30(2018)年7月 着工 令和2(2020)年4月 供用予定</p>

赤④	MM21地区 54街区 オフィス、店舗	<p>■横浜グランゲート 清水建設(株)によって、オフィスビルが建設中です。低層部には店舗やカンファレンススペースが併設予定です。</p> <p>【スケジュール】 平成29(2017)年8月 着工 令和2(2020)年2月 竣工予定</p>
赤⑤	MM21地区 66街区-56街区間 デッキ整備事業 (66-56街区)	<p>横浜駅とみなとみらい21地区を結び、歩行者が円滑に移動できる歩行者ネットワークとして、66街区と56街区間のデッキを整備します。56街区の開発と合わせて、京浜急行電鉄株式会社が事業者となります。</p> <p>【スケジュール】 平成30(2018)年10月 着工 令和元(2019)年秋 供用予定</p>
赤⑥	MM21地区 56-1街区(北側) オフィス、ミュージアム	<p>■京急グループ本社 京浜急行電鉄(株)によって、本社ビルが建設中です。保育所と1階にはミュージアムが併設予定です。</p> <p>【スケジュール】 平成29(2017)年4月 企業立地促進条例 事業計画認定 平成29(2017)年7月 着工 令和元(2019)年9月 オープン</p>
赤⑦	MM21地区 58街区 オフィス、店舗、プラネタリウム	<p>■横濱ゲートタワープロジェクト 鹿島建設(株)、住友生命保険相互会社、三井住友海上火災保険(株)によって、オフィスを主体とした複合施設を建設中です。</p> <p>低層部には、みなとみらい地区初となるプラネタリウムのほか、インキュベーションオフィス(起業支援を目的とした)や診療所・保育所等の設置が予定されています。</p> <p>【スケジュール】 平成31(2019)年4月 着工 令和3(2021)年度 竣工予定</p>
赤⑧ <変更>	MM21地区 55-1街区 研究所、オフィス	<p>■(仮称)LGグローバルR&Dセンター LGエレクトロニクスジャパン(株)によって、研究所が建設中です。</p> <p>【スケジュール】 令和元(2019)年6月 着工 令和3(2021)年11月 竣工予定</p>
赤⑨	MM21地区 47街区の一部 オフィス、音楽ホール、ホテル等	<p>■(仮称)MM21地区47街区開発計画 三菱地所(株)によって、事務所、ライブハウス型ホール、ビジネスホテル等からなる複合施設が建設中です。施設完成後、オフィス及びホール部分は(株)コーエーテクモゲームスに譲渡し、(株)コーエーテクモゲームスの本社機能が移転する予定です。</p> <p>また、ホールは「(仮称)KT Zepp Yokohama」、ホテルは「東急REIホテル」となる予定です。</p> <p>【スケジュール】 平成29(2017)年4月 企業立地促進条例 事業計画認定 平成29(2017)年12月 着工 令和2(2020)年1月 竣工予定</p>

赤⑩	MM21地区 47街区の一部 オフィス、研究所	<p>■村田製作所みなとみらいイノベーションセンター (株)村田製作所によって、村田製作所みなとみらいイノベーションセンターが建設中です。</p> <p>【スケジュール】 平成29(2017)年11月 企業立地促進条例 事業計画認定 平成30(2018)年5月 着工 令和2(2020)年9月 竣工予定</p>
赤⑪	MM21地区 43街区 大学	<p>■神奈川大学みなとみらいキャンパス 学校法人神奈川大学によって、大学の新しいキャンパスが建設中です。</p> <p>【スケジュール】 平成30(2018)年10月 本体着工 令和3(2021)年4月 開校予定</p>
赤⑫	MM21地区 38街区 コンサートアリーナ	<p>■ぴあアリーナMM ぴあ(株)によって、収容客数1万人規模の大型コンサートアリーナが建設中です。</p> <p>【スケジュール】 平成29(2017)年11月 企業立地促進条例 事業計画認定 平成29(2017)年12月 着工 令和2(2020)年4月 竣工予定</p>
赤⑬	MM21地区 38街区 オフィス	<p>■(仮称)首都高速道路(株)神奈川局開発計画 首都高速道路(株)により、事務所が建設中です。現在神奈川区にある神奈川管理局が移転予定であり、神奈川地区における首都高速道路の防災拠点となる施設です。</p> <p>【スケジュール】 平成31(2019)年4月 着工 令和3(2021)年3月 竣工予定</p>
青①	MM21地区 60・61街区 音楽アリーナ、 ホテル、オフィス、 展示施設	<p>■Kアリーナプロジェクト (株)ケン・コーポレーションにより、音楽アリーナ、ホテル、オフィス、展示施設の複合開発が計画中です。 音楽アリーナは、収容人数約2万人を予定し、音楽イベントに特化したアリーナとしては世界最大級の施設となる見込みです。</p> <p>【スケジュール】 令和2(2020)年8月 着工予定 令和5(2023)年秋 竣工予定</p>
青②	MM21地区 53街区 オフィス、商業施設、 オープンイノベーションスペース、 ホテル等	<p>(株)大林組、ヤマハ(株)、京浜急行電鉄(株)、日鉄興和不動産(株)により、オフィス、商業施設、にぎわい施設、オープンイノベーションスペース、ホテル等からなる複合開発が計画中です。</p> <p>【スケジュール】 令和2(2020)年12月 着工予定 令和5(2023)年11月 竣工予定</p>

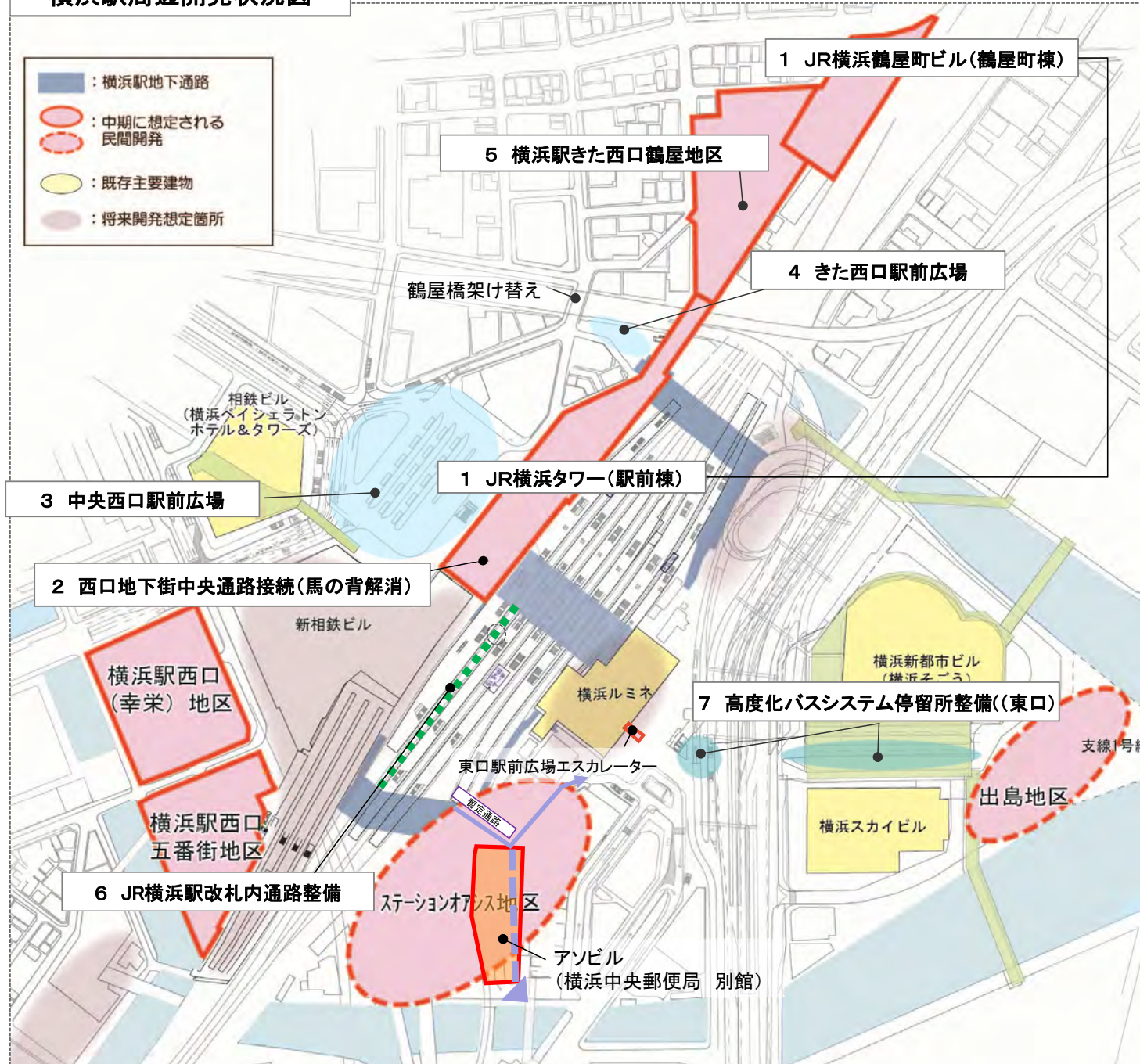
青③	MM21地区 44街区 ホテル	<p>■ (仮称)みなとみらい44街区計画 積水ハウス㈱により、MM地区内初の外資系ラグジュアリーブランドのホテル「ウェスティンホテル横浜」が計画中です。</p> <p>【スケジュール】 令和元(2019)年11月 着工予定 令和4(2022)年1月 竣工予定</p>
青④	MM21地区 37街区の一部	<p>■ (仮称)みなとみらい21中央地区37街区開発計画 合同会社KRF48により、オフィス、ホテル、商業施設からなる複合施設が計画中です。</p> <p>【スケジュール】 令和2(2020)年3月 着工予定 令和5(2023)年3月 竣工予定</p>
青⑤	MM21地区 (仮称)みなとみらい歩行者デッキ整備事業(18地区 - 10街区(新港地区))	<p>みなとみらい中央地区と新港地区を海沿いで接続する新たな歩行者専用デッキを計画中です。みなとみらいエリアの回遊性を高め、両地区の一体的な利用促進や賑わい創出効果が期待されます。</p> <p>【スケジュール】 令和元(2019)年9月 着工予定 オリンピック・パラリンピック開催までに 供用予定</p>
緑① <変更>	MM21地区 61街区の一部 ミュージアム	<p>■ 横浜アンパンマンこどもミュージアム&モールプロジェクト 日本テレビ音楽㈱によって、48街区からの移転プロジェクトが進められ、<u>令和元年7月7日にリニューアルオープンしました。</u> <u>なお、移転前の敷地はヨコハマトリエンナーレ2020の会場として暫定利用される予定です。</u></p> <p>【スケジュール】 平成30(2018)年3月 着工 令和元(2019)年7月 オープン</p>

西区開発動向分布図



横浜駅周辺開発状況図

: 横浜駅地下通路
 : 中期に想定される民間開発
 : 既存主要建物
 : 将来開発想定箇所



1 JR横浜タワー(駅前棟)

事業者: 東日本旅客鉄道(株)
 階数: 地上26階、地下3階建て
 高さ: 約135m
 用途: 商業、業務施設等

H27(2015)年度 工事着手
 R2(2020)年春頃 開業(予定)

1 JR横浜鶴屋町ビル(鶴屋町棟)

事業者: 東日本旅客鉄道(株)
 階数: 地上9階
 高さ: 約31m
 用途: 駐車場、子育て支援施設等

H30(2018)年春 工事着手
 R2(2020)年春頃 開業(予定)

2 西口地下街中央通路接続事業(馬の背解消)

事業者: (株)相鉄アーバンクリエイツ

H30(2018)年3月 接続通路の一部仮開通済み
 R元(2019)年12月 新設通路開通(予定)

3 中央西口駅前広場

R元(2019)年7月 工事着手

4 きた西口駅前広場

R元(2019)年7月 工事着手

5 横浜駅きた西口鶴屋地区(再開発ビル)

事業者: 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発組合
 階数: 地上42階
 高さ: 約180m
 用途: 住宅、ホテル、商業施設等

H29(2017)年度 再開発組合設立
 R元(2019)年度 建築工事(予定)
 R4(2022)年度 竣工(予定)

6 JR横浜駅改札内通路整備

JR改札内コンコースを結ぶ地下通路及びホームへのエレベーターを設置

R2(2020)年夏頃 使用開始(予定)

7 高度化バスシステム停留所整備(東口)

R元(2019)年度 走行環境整備工事・試走
 R2(2020)年6月頃 運行開始予定

MM21地区 開発状況図 令和元年 7月末時点



① 建設中 20：みなとみらい21中央地区20街区 MICE施設整備事業 **企業促進**

施設名称：MICE施設 (ホテル) 横浜ベイコート倶楽部ホテル&リゾート ナンションセンター
 通称：パシフィコ横浜ノース
 事業主体：横浜市、株式会社横浜リゾートトラスト株式会社、グローバルMICE
 規模等/高さ：地上6・地下1階/約36m 地上14階地下1階/約60m
 敷地/延床面積：約21,000m²/約47,000m² 約9,500m²/約48,000m²
 施設：多目的ホール、会議室等 ホテル
 オープン：令和2年春予定 令和2年6月予定

② 建設中 20-臨港パーク：臨港パーク デッキ整備事業

事業主体：港湾局
 規模等：幅員8m、延長約20m
 供用開始：令和2年4月予定

③ 建設中 50-20：臨港幹線キング軸 デッキ整備事業

事業主体：都市整備局、港湾局
 規模等：幅員15m (うち歩行者通行部 8m)、延長約56m
 供用開始：令和2年4月予定

④ 建設中 54：横浜グランゲート

事業主体：清水建設株式会社
 規模等/高さ：地上19階/約100m
 敷地/延床面積：約13,500m²/約101,000m²
 施設：事務所、店舗等
 竣工：令和2年2月予定

⑤ 建設中 66-56：デッキ整備事業

事業主体：京浜急行電鉄株式会社
 規模等：幅員4.0m、延長約38m
 供用開始：令和元年秋予定

⑥ 建設中 56-1：京急グループ本社 **企業促進**

事業主体：京浜急行電鉄株式会社
 規模等/高さ：地上18階・地下2階 / 約85m
 敷地/延床面積：約3,600m²/約25,800m²
 施設：事務所、展示スペース、保育所等
 竣工：令和元年8月予定

⑦ 建設中 58：横浜ゲートタワープロジェクト

事業主体：鹿島建設株式会社、住友生命保険相互会社 三井住友海上火災保険株式会社
 規模等/高さ：地上21階、地下1階、高さ約110m
 敷地/延床面積：約9,300m²/約84,000m²
 施設：オフィス、店舗、プラネタリウム等
 竣工：令和3年度予定

⑧ 建設中 55-1：(仮称) LGグローバル R&Dセンター **(変更) 計画中→建設中**

事業主体：LG Electronics Japan株式会社 LG Holdings Japan株式会社
 規模等/高さ：地上16階・地下1階/約93m
 敷地/延床面積：約4,000m²/約35,800m²
 施設：研究所、事務所等
 竣工：令和3年11月予定

⑨ 建設中 47の一部：(仮称) MM21地区 47街区開発計画 **企業促進**

事業主体：三菱地所株式会社
 規模等/高さ：地上15階、地下1階、高さ約81m
 敷地/延床面積：約8,700m²/約37,000m²
 施設：株式会社コーエーテクモゲームス本社 東急REIホテル、ホール、店舗等
 竣工：令和2年1月予定

⑩ 建設中 47の一部：村田製作所みなとみらいイノベーションセンター **企業促進**

事業主体：株式会社村田製作所
 規模等/高さ：地上18階、地下2階、高さ約100m
 敷地/延床面積：約7,400m²/約60,000m²
 施設：オフィス、研究所等
 竣工：令和2年9月予定

⑪ 建設中 43：学校法人神奈川大学 みなとみらいキャンパス

事業主体：学校法人神奈川大学
 規模等/高さ：地上23階・地下1階/約100m
 敷地/延床面積：約7,850m² / 約49,800m²
 施設：大学、研究施設等
 オープン：令和3年4月予定

⑬ 竣工済 61の一部：横浜アンパンマンこどもミュージアム&モール プロジェクト **(変更) 建設中→竣工済**

事業主体：日本テレビ音楽株式会社
 規模等/高さ：地上3階・地下1階/約18m
 敷地/延床面積：約5,700m²/約14,000m²
 施設：ミュージアム、店舗
 オープン：令和元年7月

⑭ 計画中 60・61の一部：Kアリーナ プロジェクト

事業主体：株式会社ケン・コーポレーション
 規模等/高さ：地上25階、高さ約100m
 敷地/延床面積：約31,800m²/約112,100m²
 施設：音楽アリーナ、ホテル、オフィス、展示施設
 竣工：令和5年秋予定

⑮ 計画中 53：

事業主体：株式会社大林組、ヤマハ株式会社、京浜急行電鉄株式会社、日鉄興和不動産株式会社
 規模等/高さ：【WEST棟】地上28階、高さ153m 【EAST棟】地上15階、高さ85.5m
 敷地/延床面積：約20,620m²/約182,825m²
 施設：オフィス、商業施設、オープンインバケーションスペース、にぎわい施設、ホテル等
 竣工：令和5年11月予定

⑯ 計画中 44の一部：(仮称) みなとみらい4 4街区計画 **企業促進**

事業主体：積水ハウス(株)
 規模等/高さ：地上23階/約100m
 敷地/延床面積：約9,600m²/約64,600m²
 施設：ホテル
 竣工：令和4年1月予定

⑰ 計画中 37の一部：(仮称) みなとみらい21 中央地区37街区開発計画

事業主体：合同会社K R F 4 8
 規模等/高さ：地上28階、地下1階/高さ約146m
 敷地/延床面積：約10,100m² / 約122,000m²
 施設：オフィス、ホテル、店舗、駐車場
 竣工：令和5年3月予定

⑱ 計画中 18：(仮称) みなとみらい歩行者デッキ

事業主体：港湾局
 規模等：幅員6m、延長約75m
 供用開始：オリンピック・パラリンピック開催までに

⑲ 建設中 38の一部：(仮称) 首都高速道路(株) 神奈川局開発計画

事業主体：首都高速道路株式会社
 規模等/高さ：地上10階、高さ約47m
 敷地/延床面積：約2,500m²/約14,000m²
 施設：オフィス、駐車場
 竣工：令和3年3月予定

⑳ 建設中 38の一部：びあアリーナMM **企業促進**

事業主体：びあ株式会社
 規模等/高さ：地上4階、地下1階、高さ約33m
 敷地/延床面積：約12,000m²/約23,000m²
 施設：アリーナ他
 開業：令和2年4月予定

企業立地促進条例の事業計画認定済

赤色：建設中
青色：計画中
黄色：公募対象
緑色：竣工済